



笹賀の世帯数・人口	
世帯数	4,508 世帯
人口	11,322 人
男	5,728 人
女	5,594 人
(平成 27.3.1 現在)	

空港東町会40周年

空港東町会は、今年40周年を迎えました。1月18日、この節目を祝う式典が盛大に行われました。

発足は昭和50年

「塩尻市空港東区」

当初この地区は塩尻市洗馬に属していました。その地権者のほとんどが笹賀小侯の住民であり、その二男、三男の家を建てたのが始まりでした。そのため戸籍等は小侯に寄留し、特例として学校は菅野小中学校に通っていました。

昭和44年、中下町会に加入(戸数7)。しかし、昭和46年



40周年式典の様子



の統一地方選挙を期に住民票が塩尻市へ強制移動されました(学校は変わらず)。その後昭和49年洗馬区岩垂9組となり、さらに翌昭和50年行政区域が「塩尻市空港東区」となったことから、ここに「空港東町会」が誕生しました(戸数26)。

水道と学校が大きな問題に

松本空港の建設まで、この地域は畑と森林でした。そのため、空港のために敷設された水道は住宅用には十分に活用できず、中には近くの石材店の井戸水を使用した家もありました。さらに大きな問題となったのは学校でした。この頃、二美町などの団地造成が急速に進み子供達の数が急増しました。しかし、まだ新しい学校がで



毎年恒例の子供神輿

きず、全て菅野小・中学校に通学したため、学校は完全にパンク状態になりました。このため、昭和52年度の新入生から、今井小学校・丘中学校への通学となり、学校が遠く、また、兄弟が違う学校に通うという変則な状態や、整備されていない通学路など大きな問題を抱えることとなりました。

昭和57年松本市へ編入 「松本市空港東町会」へ

そうした困難を解消するため、松本市への編入に向けて話し合いが始まりました。しかし、当時税金や水道料金も塩尻市の方が安かったこともあり、すぐには全員一致とはなりません。話し合いを重ねる中で、昭和55年、ついに全戸が松本市への編入で一致しました。当時町会長だった

藤波登さんは、「子供の安全のために、菅野小・中学校に通学できるようにすることが最大の目的だった」と振り返ります。全町民一致の強い意思により、昭和57年4月1日より松本市への編入が実現し、「松本市空港東町会」となりました。

移住者がほとんどの この町で強い絆を

誕生時26戸だった町会も、10年後の昭和60年には100戸となり、平成19年には200戸を超え、昨年平成26年は265戸となりました。急速に増える住民の和を保ち、また子供達の思い出作りにとの思いから、神社を奉りお祭りをやろうと言うことになりました。昭和57年京都・北野天満宮のお払いを受けた御幣と祠を奉り「空港東天満宮」が鎮座しました。以来、夏祭りでは子供神輿が町内を練り歩き、年越しには餅投げなどで大変な盛り上がりを見せています。

平成17年には、福祉ネットワークが発足、「子供安全見守り隊」「きれいな街に花咲かせ隊」など六つの隊を設け住民の自主参加による取り組みが進みました。初代代表の奥原剛さんは当時を振り返り

「自主申告でお願いしたら、200名を超える人が参加表明し、うれしい悲鳴を上げた」と語ります。

思いやりと心豊かな街を

住民の積極的参加によって町会の取り組みは「花壇作り」「盆踊り大会」「どんど焼き」など多方面にわたってすすんできました。平成26年のどんど焼きは、防災会の炊き出し訓練を兼ねて行われ430名もの人が参加しました。

40周年を迎えた今、松井清町会長は「親しみのある、思いやりで満ちた、心の豊かさを感じる街づくり」をスローガンに、みんなで取り組んで行きたい」と語っています。



町民積極参加のどんど焼き

市政まちかどトーク開催

1月28日に菅谷市長・坪田副市長をはじめとする市の理事者の皆さんと地区の課題等について懇談する「笹賀地区市政まちかどトーク」が開催されました。

1月28日に菅谷市長・坪田副市長をはじめとする市の理事者の皆さんと地区の課題等について懇談する「笹賀地区市政まちかどトーク」が開催されました。

笹賀地区でのまちかどトークの開催は3年ぶりであり、市政について、市長と直接懇談ができる機会に多くの住民が関心を持ち、会場である大会議室は満員となっていました。

懇談では、最初に笹賀地区が以前より行ってきた地域づくり活動について、パワーポイントを使った説明がありました。

その後、笹賀地区福祉の地域づくり協議会の太田会長から、笹賀地区が進めている福



祉の地域づくりについて、取り組みの経過や、今後目指していく地域福祉の体系について、市の協力・支援の要望が話されました。

後半のフリートークでは、高齢化の進展という切実な課題を抱える二美町市営住宅の建替計画について、早期に計



画を示して欲しいとの要望や、長野県の空の玄関口であり、多くの子どもが通学路として利用している県道松本空港線への歩道設置を、市としても地元と共に県に強く要望して欲しいとの意見、また、松本市の子育て支援施策に対する提言等が出され、それぞれ担当部長からの具体的な回答を伺うことができました。

最後には、時間が超えている中、菅谷市長から健康寿命延伸都市・松本の創造と、今後の松本市の目指すまちづくりについて話を伺うことができ、参加者からは、活発な懇談内容に大変満足したという声がありました。

こういった場が出された意見や要望が市政に反映され、地域と行政が一体となった地域づくりにつながれば、さらに住み良い笹賀地区、そして松本市になると実感いたしました。

学校支援 糸鋸による工作指導

1月15日、29日の二日間に渡り、菅野小学校6年2組では「総合的な学習の時間」で、地域の指導者による糸鋸を使った工作の授業を行いました。これは、菅野小学校と笹賀公民館が共催で企画したもので、講師には、保育園や児童館等に、手作りの木のおもちゃやパズル等をプレゼントしている三村幸拍さんをお願いしました。



糸鋸に挑戦!

生徒たちは、紙に自分の好きな絵を描き、それを木に貼付け、線に沿って糸鋸を走らせました。曲線の部分では、友達と協力して、線から糸鋸が外れないようにしていました。サンドペーパーで仕上げを行い、生徒たちは作品の出来栄を見せ合っていました。中には「六年」と切り抜いた難しい作品を作り上げた児童もいました。

スポーツ大会結果

【第30回笹賀地区 町内公民館対抗卓球大会】

1月25日(日)に恒例の卓球大会が開催され、熱戦が展開されました。

- 大会結果
- 優勝 神戸
 - 準優勝 下二子
 - 第三位 中二子

二美町2丁目



大会の様子

【西南ブロックゲートボール大会】

3月12日(木)に、今井・神林・笹賀の三地区によるゲートボール大会が開催され、笹賀地区からは3チームが出場し、健闘しました。

大会結果

- 《北コートブロック》
優勝 南耕地(今井)
- 《南コートブロック》
優勝 神林A(神林)